

令和7年度第1回文教厚生常任委員会行政視察研修報告書

- 1 目 的 所管事務調査先進地視察(行政視察)
- 2 実 施 日 令和7年5月14日(水)～16日(金)
- 3 視 察 地 ^{サイバーダイネ}CYBERDYNE(株) (茨城県つくば市)
茨城県鹿嶋市
千葉県松戸市
神奈川県横須賀市
- 4 視察内容 CYBERDYNE(株) (茨城県つくば市)
『装着型サイボーグの介護補助体験について』
茨城県鹿嶋市 『いきいきゆめプール(学校用プールと市民プール
を兼ねた屋内温水プール)について』
千葉県松戸市 『こども誰でも通園制度について』
神奈川県横須賀市 『横浜F・マリノスと地域の連携について』
- 5 参 加 者 委 員 長 落合 千枝子
副委員長 角田 憲治
委 員 岡村 浩雅
委 員 永井 孝叔
委 員 手塚 定
執行部職員 2名
事務局職員 1名

CYBERDYNE(株) 『装着型サイボーグの介護補助体験について』

視察日 令和7年5月14日(水)

1 CYBERDYNE(株)の概要

2004年6月、大学発ベンチャーとして誕生。医療福祉機器および医療福祉システムの研究開発や、高齢者・障がい者用の身体機能補助機器および身体機能補助システム等の研究開発を行う。

HAL®(Hybrid Assistive Limb®)は、身体機能を改善・補助・拡張・再生することができる世界初の装着型サイボーグで、腰タイプの装着

体験では、HAL®を腰部に装着し、実際に動作アシストを体験することができる。

2 視察内容

介護に係るすべての人をサポートできる装着型サイボーグHAL®を装着し、介護される側と、介護する側両方の体験を行う。すでに導入されている介護施設での状況や、自治体の導入事例について調査し、さくら市の介護事業・介護予防事業等の取り組みの参考とする。

3 所感

長野県伊那市では、装着型サイボーグHAL®を活用した健康推進事業を行っている。

当市でも、フレイル予防の体操用や、脳梗塞等の後遺症からのリハビリ用、介護現場での腰痛防止として導入を検討すること。



装着型サイボーグHAL®



装着体験

茨城県鹿嶋市 『いきいきゆめプール（学校用プールと市民プールを兼ねた屋内温水プール）について』

視察日 令和7年5月14日（水）

1 鹿嶋市の概要

県東南部に位置し、東は太平洋に面している。古くから鹿島神宮の門前町として栄え、1960年代に始まった臨海工業地帯の開発により、鉄鋼業を産業の柱に工業都市として発展した。Jリーグ・鹿島アントラーズの本拠地でもある。

人口 66,274人 面積 106.04km²
議員定数 20人

小学校 12校 児童数 3,309人
中学校 7校 生徒数 2,073人

2 視察内容

いきいきゆめプールは、平日の午前中に市内小中学校の水泳授業を行い、学校用プールに使用しない土・日曜日や平日の午後に市民プールとして活用する屋内温水プールである。

令和6年10月に当市で策定された「プール最適化基本方針」に基づき、今後建設される屋内温水プールの参考事例として視察を行う。

あわせて、建設までの経緯（学校プールの統廃合）や、施設の運営方法、現在の課題や今後の改善点などを調査する。

3 所感

鹿嶋市に習い、学校プール兼用の屋内温水プールの建設に向けた課題を整理すること。

【課題の例】

- ・建設場所（氏家地区小中学校からの距離）
- ・建設及び運営方法（公設公営、公設民営、民設民営）
- ・温水プールの熱源（運営コスト、鹿嶋市は電気→温度が上がりにくい）
- ・小中学校のプール授業と一般利用の線引き
- ・利用料、営業時間、休館日
- ・水泳授業時の教員の役割、インストラクター等外部指導者の登用
- ・水泳授業実施時のスクールバス活用（借上バス）など



いきいきゆめプール



外観

千葉県松戸市 『こども誰でも通園制度について』

視察日 令和7年5月15日（木）

1 松戸市の概要

県北西部に位置し、江戸川を挟んで東京都と隣接。江戸時代には水戸街道の宿場町また江戸川舟運の要衝として栄えた。高度成長期に東京のベッドタウンとして住宅化が進行。発足から50年が経つ「すぐやる課」などの施策を実施している。

人口 497,120人 面積 61.38km²
議員定数 44人

2 視察内容

国が令和8年4月の本格実施を目指している「こども誰でも通園制度」について、松戸市ではすでに5つの保育所等の施設で実施している。

実施までの過程、実施後の現状や今後の課題などについて視察を行い、令和7年度9月に実施を予定している当市の参考とする。

3 所感

松戸市の例に習い、こども誰でも通園制度実施に向けた課題を整理すること。

【課題の例】

- ・ 保育士不足への対応（松戸手当の創設）
- ・ 病児・病後児保育の対応、アレルギーある子への対応
- ・ 初回利用にあたっての面談
- ・ 担当保育士の負担軽減策（ICT活用）
- ・ 昼食提供
- ・ 実施園の拡大 など



視察研修の様子



松戸市の議場

神奈川県横須賀市 『横浜F・マリノスと地域の連携について』

視察日 令和7年5月16日（金）

1 横須賀市の概要

県の南東部、三浦半島中央部に位置し、三方を海で囲まれる海洋都市。江戸時代の幕末にはペリーの黒船が来航した。戦前は日本最大の軍港都市として発展し、現在も自衛隊や米軍の基地が立地。旧日本海軍の海軍カレーを復元したカレーが有名。

人口 388,197人 面積 100.81km²
議員定数 39人

2 視察内容

横須賀市では、サッカーJ1の「横浜F・マリノス」と連携した取り組みを行っている。プロスポーツチームと連携した取り組み（各種イベントやスポーツ教室、スポーツによる地域への集客、誘客促進事業など）を視察する。

また横須賀市が進めている「よこすかの街をトリコロールに」など、地域が一带となって応援する街づくりの実例を調査する。

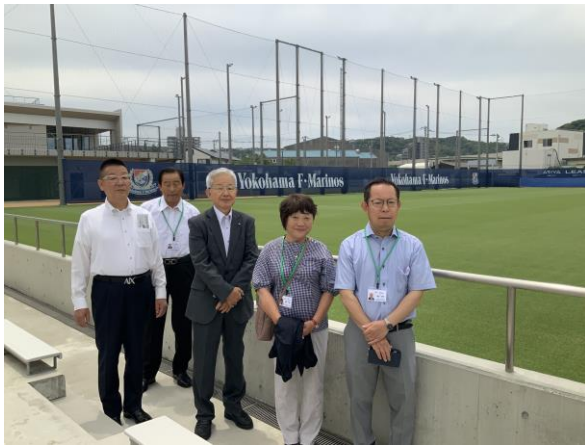
栃木SCグラウンド整備（令和7年4月開始）に伴い実施される、さくら市と栃木SCの地域連携の参考事例とする。

3 所感

連携できることは即座に実施すること。

【連携の例】

- ・市民が栃木SCへの愛着を持つための施作
（お丸山のライトアップ、栃木SCカラーでの塗装、原付バイク、トッキー等）
- ・ふるさと納税への栃木SCグッズ商品の展開
（プレミアム付きユニフォーム、観戦チケット）
- ・栃木SCと地域が連携した商品作り
（食品、グッズ）
- ・学校給食への栃木SCメニューの提供
（マリノスではフェイジョアータを提供）
- ・選手からのSNSを使ったPR、市内イベント、飲食店、ショップ紹介 など



「F・マリノススポーツパーク」サッカーコート



クラブハウス



マリノスカラーに装飾した消防団詰所